

ご挨拶

社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

皆様におかれましては益々の活躍のことと存じます。新型コロナウイルスも丸々一年になるうとじていますが、私たちの生活に多大な影響をもたらしてきました。私たちもこの間、緊張の連続で感染防止に全力を上げてきました。国が感染防止の基準を緩める中で、今後も新たなウイルス出現や冬場に向けてインフルエンザと同時に発症が予想されるなかで、私たちも利用者様の安全と命を守るために全力で対応していきます。

国や自治体には医療体制や保健所体制などの強化、充足を求めるものです。

《放課後等デイサービスの閉鎖について》

五年前に放課後等デイサービスを開設してきましたが、この一年間、児発管（児童発達支援管理責任者）の後継者を募集し、応募者の面接を行ってきました。教諭や保育士の資格をもつていても児発管としてやっていただくには数年かかります。残念ながら確保の見通しが見えない状況があり、力不足もありやむなく二〇二二年九月をもつて閉鎖させていただきました。これまで利用していただいた児童の皆さんには、行政とも相談しながら、近隣の施設や、その児童に合った施設で受け入れていただきました。

これまで御支援いただいた行政や、各施設、保護者の皆様に御礼申し上げます。

《宅幼老所のコロナの集団感染について》

十月初めからわずか数日間間に職員、利用者の方に集団感染を起こしてしまいました。これまで職員の努力や利用者、家族の皆さんのご協力のおかげで感染者を出さずにきましたが、集団感染が出たということは何か弱点があったと思います。今回の感染にあたり、感染予防の専門看護師の方にも調査に入ってください、これまで以上の感染防止に全力を上げる決意です。利用者、家族、行政や施設関係者の皆様にご心配をおかけしたことについて御詫びし、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

す。

《宅幼老所の建替え移転について》

宅幼老所は十六年前に民家をお借りし、改築しながら運営をしてきましたが、五十年近い施設も老朽化がすすみ、利用者様の安全性や快適性などのことも考え、以前から中長期計画に入っていた宅幼老所を建て替えることになりました。

これまでも地域の皆様の要望にこたえて、「断らない」「すぐに対応する」「何とかする」の視点で職員一同頑張ってきました。今回の施設はこれまでの経験や実績の上に立って、利用者様や職員の考え抜いた施設です。これまで以上のご利用をお願いし、皆様のご支援、ご協力をお願い致します。来春五月のオープンめざして全職員でがんばっています。